

【事業実績】

国立民族学博物館を会場とした北大阪ミュージアムメッセ、万博記念公園を会場とした日本万国博覧会遺産ツアー及び関西大学梅田キャンパスにて北大阪ミュージアム・ネットワークシンポジウムの3つの事業を実施した。

【1】北大阪ミュージアムメッセ

北大阪ミュージアム・ネットワーク加盟の各館がアウトリーチ活動として博物館ボランティア、大学生、地域の市民団体等と共働し、各ミュージアム、地域文化資源の紹介、体験型ワークショップ、各館が所蔵する大阪万博関連の資料、映像を展示する合同エキシビション、地域の民俗芸能や館活動に関連する民族芸能の披露した。



展示ブース



合同エキシビション



民俗芸能上演



民族芸能上演

成果物

- ・北大阪ミュージアムメッセ合同エキシビションパンフレット
- ・北大阪ミュージアム・ネットワーク紹介リーフレット

【2】日本万国博覧会遺産ツアー

万博記念公園を会場とし、「大阪万博」の遺産を解説つきでめぐった。

大阪日本万国博覧会遺産ツアー

【3】北大阪ミュージアム・ネットワークシンポジウム

「大阪万博」をテーマに 1970 年大阪万博に至る博覧会の歴史についてさまざまな視点から議論、検証した。

(1) 参加者数

日本万国博覧会遺産ツアー 53名

北大阪ミュージアムメッセ 4, 559名

北大阪ミュージアム・ネットワークシンポジウム 88名



シンポジウム

(2) マスコミでの報道結果

読売新聞 (11 月 12 日)

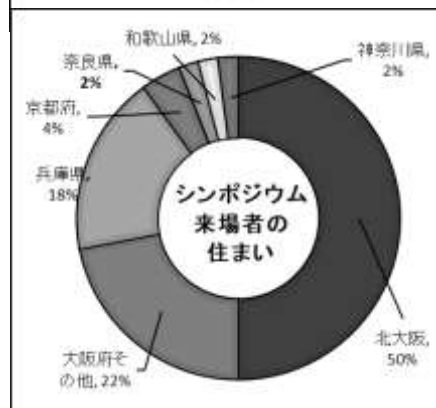
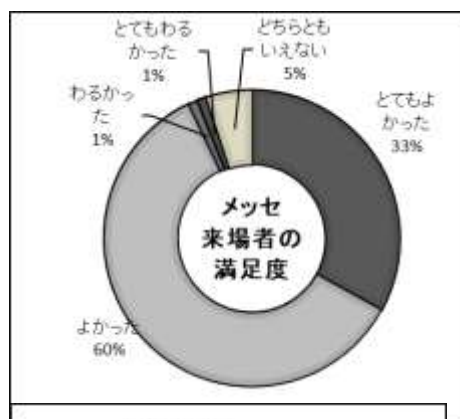
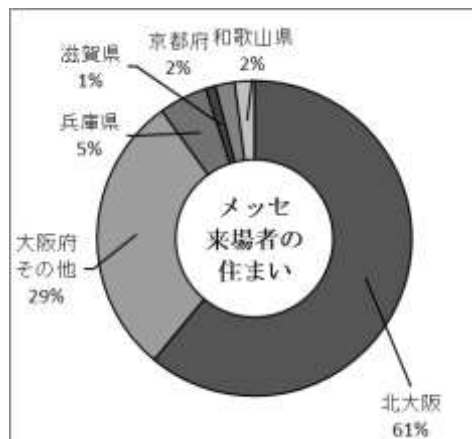
朝日新聞 (11 月 14 日)

読売新聞 (1 月 5 日)

(3) 成果および今後の課題

北大阪ミュージアムメッセにおいては、北大阪を中心に広域から 4,500 名を超す来場者があり、9 割以上からとてもよかった。よかったという高評価を得ることができた。意見感想にも展示ブースについては、北大阪のミュージアムが一堂に会することにより、さまざまな豊富な情報を得ることができ、地域のミュージアムや文化資源の多様さとその内容が理解できた。合同エキシビションには貴重な興味深い万博資料がみれてよかった。体験型ワークショップには特に親子連れから興味深い体験ができることはたいへん魅力的です。など多くの好意的な感想が寄せられた。また、合同エキシビションでは見学者からもエピソード、写真などの情報を入手、集積することができた。

シンポジウムにおいては、9 割以上からとてもよかった。よかったという高評価を得ることができ、意見感想ではさまざまな万博の歴史や多様な側面をわかりやすく知ることができ、学ぶきっかけにもなった。1970 年の大阪万博の見方が変わった。今後も継続して開催してもらいたい。という好意的な意見を多く得ることができ、新聞報道でも基調講演で「万博は世界の構成を反映したミニチュアとしたうえで、70 年万博は植民地なき世界、2025 年大阪・関西万博は文化の多様性を本当の意味で実現する道の上に位置づけられる。」との指摘があった。さらにパネル討論では



「大阪にとって万博は特別な文化遺産」と評価する声などが上がった。と報道され、大阪万博を中心とする博覧会を周知し、回顧と展望の一端を担うことができた。

今後の課題としては、2020 年の大阪万博 50 周年に向けてさらなる取り組みを進めるとともに、2025 年大阪・関西万博の機運をより高めるために若者層への事業アピールが必要であるとともに、自主財源でのミュージアムと地域文化資源を情報発信していく創意工夫が必要である。

